



平成27年(第8回)飯舘村定例議会

今議会でも可決された議案等

(紙面の都合上、一部省略しています)

平成27年度一般会計補正予算

既定予算の総額に、地方交付税・国庫支出金等を充当し、6億6971万円の増額。歳入歳出予算の総額を96億3796万円としました。

平成27年度介護保険特別会計補正予算

平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算

平成26年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について

避難地域復興拠点推進交付金基金条例

個人情報保護条例の一部を改正する条例

税特別措置条例の一部を改正する条例

消防飯舘分署建設工事請負契約について

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

原子力災害からの福島復興の加速に向けて

政府が6月12日に閣議決定した「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」いわゆる「第5次提言」について、国から村及び議会災害復興対策特別委員会並びに行政区長・副区長会議で概要説明がありました。

本件については「帰還困難区域」を除く「避難指示解除時期の明示(遅くとも平成29年3月)」という重要案件ですので、国に対し村民向けの方部別懇談会開催を要請し、8月下旬から9月上旬にかけて県内4会場で開催しました。

その結果、村民から避難指示

解除にあたり「除染は予定どおり完了できるのか」「生活インフラの整備は」など多くの不安や課題が出されました。

これに対し、国からは目標としている平成29年3月までの避難指示解除時期までに「徹底した除染による空間線量の低減」「医療、介護、買い物、交通・通信などのインフラ整備」など、向こう2年間において最大限対応していく方針が示されました。

なお、解除にあたっては、村民・議会とも十分な協議を行い、仮設借上げ住宅の3年程度の延長や生活支援的な制度の確立並びに賠償など村民にとって有利な条件で解除できるよう、国と交渉していきます。

村内での小売店再開

村は、昨年から「セブンイレブン・ジャパン」と精力的に協議を進め、7月31日に仮設店舗として村内にオープンすることができました。

店舗のオープンによって、村全体に少なからず希望の灯が灯され、活気が出てきたように思われます。

松塚地区メガソーラー建設

松塚地区の住民が計画してきたメガソーラーについて、「福島県復興整備協議会」で農地転用、農振除外等の承認を得られましたので、9月2日に現地で安全祈願祭を行いました。

林野庁への要望活動

村は林野庁に対して、本村の基幹産業である林業について、森林再生のために新たな国の交付金事業の制度をつくるよう要望しました。

道の駅「までい館」

村内復興拠点エリアに整備する道の駅「までい館」の建設設計を委託する業者を選定するため、施設的设计競技審査を行いました。この結果を受け、株式会社関・空間設計と平成27年8月7日付けで業務委託契約を取り交わしました。

納税優良市町村表彰

県民税収納率が高いことから、納税優良市町村として県から感謝状の伝達がありました。

農業復興組合

営農再開を行う農業復興組合が8つの行政区で設立され、うち5つの行政区で活動が行われています。今後、全村域での組合設立を推進していきます。

農業委員会委員一般選挙

任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙が7月に行われ、定数内立候補者数であったため無投票で選挙委員11名が当選。また、選任委員4名の併せて15名の体制となりました。

村内除染状況

昨年度、除染同意を得て繰越工事として除染してきた14行政区の宅地、建物とその周辺の農地・森林について、6月末までに完了しました。

小宮仮設焼却炉

4月から6月末までに339トン焼却し、排ガス等の測定項目については、すべて基準値以下です。放射性物質濃度についても毎月の測定結果がNDとなっています。

蔵平減容化施設

国見町の県北浄化センターから蔵平減容化施設への乾燥下水汚泥の先行運搬が行われており、7月末までにドラム缶2512本が搬入されました。

搬入先の仮保管場において、ドラム缶搬入による空間線量の上昇は見られていません。

内部被ばく検査と甲状腺検査

幼・小中学校に通う子どもたち、301人全員を対象とした、内部被ばく検査と甲状腺検査を実施しました。

検査結果については、現在県立医科大学等で取りまとめています。

村集団検診結果説明会

集団検診結果説明会を7月9日から17日にかけて、仮設住宅などを会場に実施しました。

説明会では、震災前の検診結果と今年の結果を比較し、5年にも及ぶ避難生活による肥満やストレスが与える影響、生活習慣病を予防する食事や運動の方法などを学びました。

村健康・福祉・医療再開準備検討委員会

村健康・福祉・医療再開準備検討委員会では、いたてクリニックの業務再開をメインに、避難指示解除に合わせて再開を想定する業務やサービス等を検討しています。

沖縄までの旅・未来への翼

小学6年生を対象にした沖縄までの旅が3泊4日の日程で行われ、村内外合わせて49人が沖縄の豊かな自然や文化遺産などを訪れ、命の大切さや環境保全を学んできました。

中学生を対象にした未来への翼は9泊10日の日程で行われ、14人の中学生がドイツで自然エネルギーの取り組みなどを学びました。

思いやりまでいラリー・ピンポン交流会

6月28日、福島市で「第4回思いやりまでいラリー・ピンポン交流会」を開催し、約120人の参加者同士が交流を楽しみました。